聖書通読 その前に・・・

聖書はつまらない？

聖書は、何千年にもわたって読み継がれ、今日でも多くの人々のたましいの糧となっている。とはいえ、そこに書かれていることは必ずしも現代人になじみぶかいものではなく、またそこにつづられている内容はいつも教訓的なものとは限らない。最初から最後まで読み通してみようとしても途中で挫折する。話に結論がなく、こま切れに見えることはしばしばである。

なぜ、読みにくいのだろうか。なぜ、わくわくしないのだろうか。

聖書は ～～ ではない

- 自分の道に役立つ、教訓や人生訓、処世術が取り出せる特効薬じゃない。歩むべき道自体を変えるように促す。
- 小説や詩のように、心理描写、情景描写が中心に書かれてはいないので感情移入させてくれない。
  映画のようにふんぞり返って見て何かを受けとるエンターテインメントの物語ではない。
- 聖書の基盤はヘブル文化（ヘブル語聖書）であり、ギリシャ的西洋的文化ではない。
  新約聖書もギリシャ語で書かれているが、ヘブル語の表現やヘブル的思想にあふれている。
- 真理は、抽象的概念的、教理的哲学的には表現されていない。
  ことばは、命題の形や辞書的には表現されていない。
  いのちとは何ぞや、ではなく、如何に生きるか、読者に行動が要求される
- ステップロジック（序本結の論理表現）ではない。ブロックロジック（両極の並行法）で話が飛んでいるように見える。
- 「救い」は、個人的で心の中の信仰義認にとどまらない。
  神の国が勝利する福音である。言い換えると再創造、新創造。
-

ざっくり読む、じっくり読む、くりかえし読む、くらべて読む・・・

最初から最後まで一度通して読んでもわからない。行きつ戻りつ繰り返してくらべて読む。

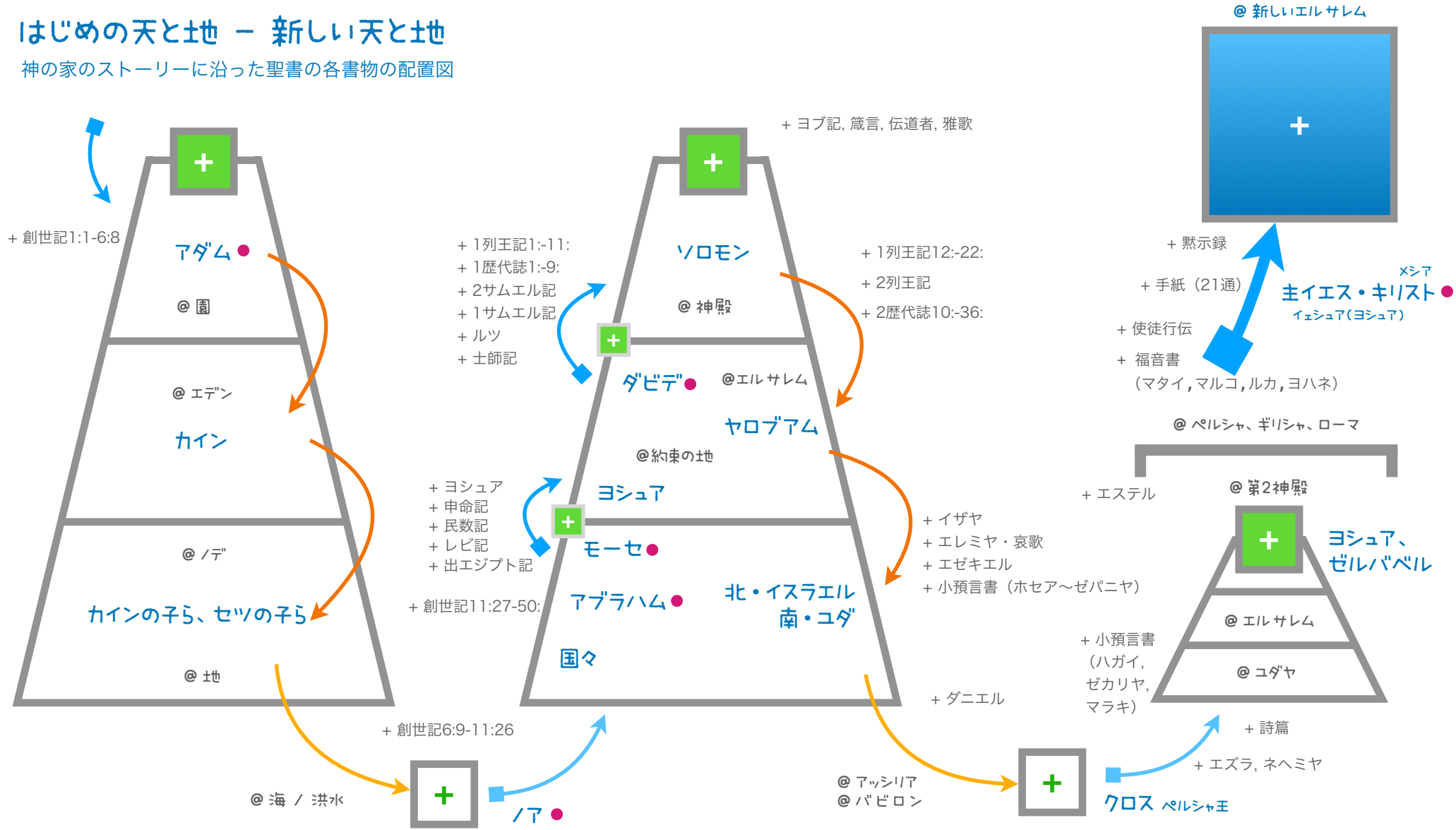
大きくざっくり、細かくじっくり。通読は、全体像を大きくざっくり把握するための読み方。

聖書の読み方の前に、まず、聖書の書き方に注目する。聖書の表現方法や編集技法を知ることによって、聖書自体が語らんとするところを汲み出すことができる。ひとことで言うなら、「くらべて読むように書かれている」ことが聖書の書き方の特徴である。

Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201224

はじめの天と地 ー 新しい天と地

神の家のストーリーに沿った聖書の各書物の配置図



+ @園, 天幕, 都, 神殿, 家, 王国, 相続分 - エデンの園のモデル (善悪の知識の木といのちの木)

創造, 再創造, 救い, 救出, 再生, 相続 - 出エジプトの記念祭のモデル (過越祭, 七週祭・ペンコステ, 仮庵祭)

勘当, 相続剥奪, 捕囚, 刑罰, 滅亡

● 契約, 約束, 警告, 命令, 遺言 - 神から与えられる祝福と責任（神となり民となる、王と祭司）

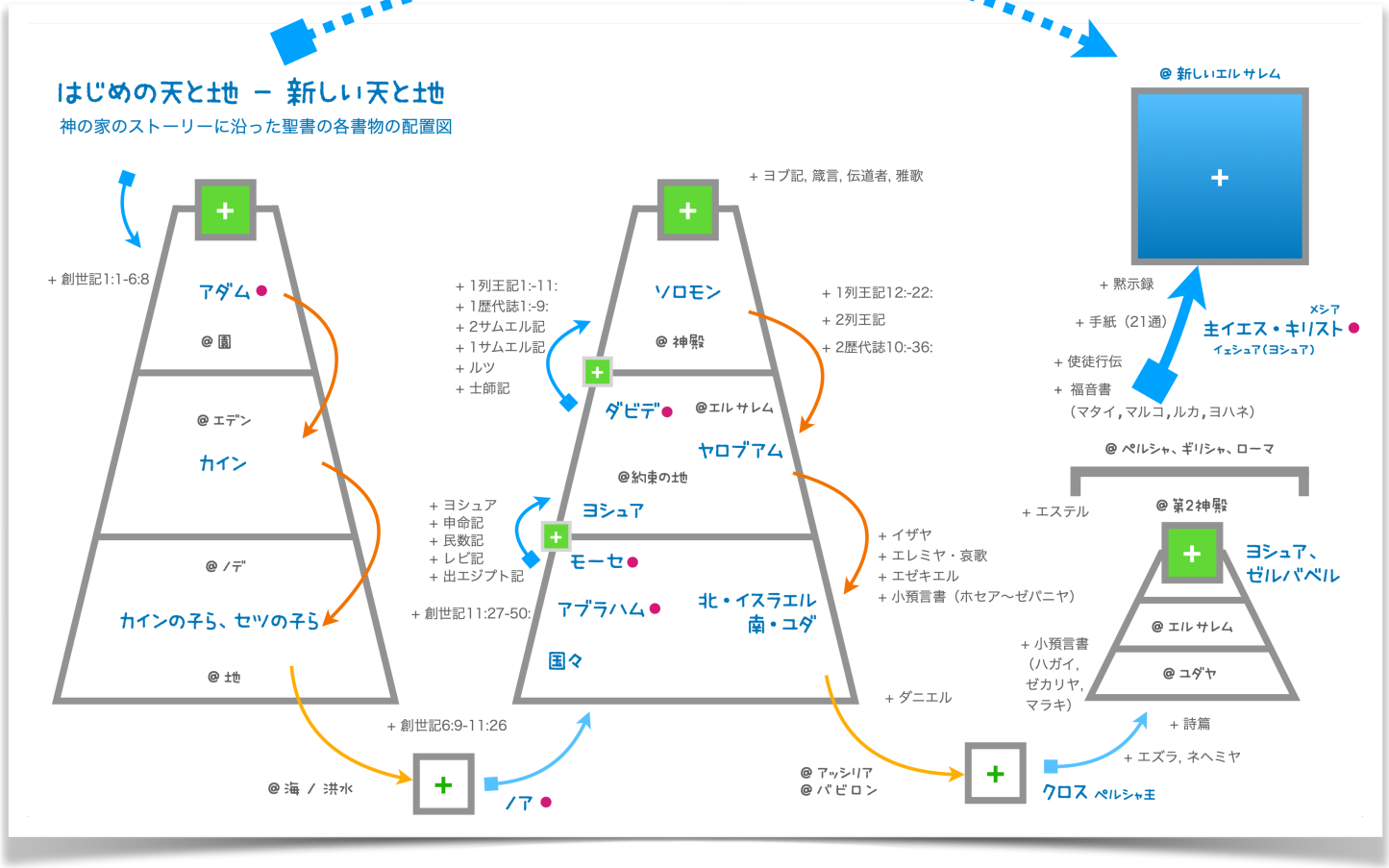
Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201224

聖書通読 その前に・・・

聖書の構造を見極め、聖書の筋書きを見通すために

■ **はじめの天地、新しい天地** - はじめの結婚、新しい結婚

■ **旧約聖書、新約聖書** - 見える天地、見えない天地



■ **エデンの園と神殿 - 神の家**
- めざすべき目的地

@園, 天幕, 都, 神殿, 家, 王国
- エデンの園のモデル
(善悪の知識の木といのちの木)

■ **記念祭 -** 完成への道
- 目的地への導き

創造, 再創造, 救い, 救出, 再生
- 出エジプトの記念祭のモデル
(過越祭, 七週祭・ペンコステ, 仮庵祭)

■ **モーセの律法 その前に** - 神の国の誕生
■ **歴史書 その前に** - 神の家の創造と崩壊
■ **預言書 その前に** - 神の民の堕落と再生
■ **詩篇 その前に** - 賛美の神殿
■ **福音書 その前に** - 誕生と新生
■ **手紙 その前に** - 新天地への行進
■ **黙示録 その前に** - ハレルヤ・アーメン

Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201224

聖書は、結婚ではじまり、結婚で終わる

■ 聖書はアダムとエバの結婚式ではじまり、主イエスと教会の結婚式で終わる。ユダヤ人は、安息日のことを花嫁とも呼ぶ。結婚の奥義は偉大です - エペソ5:32。

		はじめの創造　創世記1－2章	新しい創造　黙示録21－22章
創造		はじめに神は天と地とを創造された。Gen 1:1 神はその第七日を祝福して、これを聖別された。 Gen 2:3	わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り… Rev 21:1
花婿 花嫁		神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。Gen 1:27 それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。 Gen 2:24	また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて…Rev 21:2 さあ、きなさい。小羊の妻なる花嫁を見せようRev 21:9
新居 働く場		主なる神は東のかた、エデンに一つの園を設けて…Gen 2:8 その第一の名はピソンといい、金のあるハビラの全地をめぐるもので、 Gen 2:11 その地の金は良く、またそこはブドラクと、しまめのうとを産した。 Gen 2:12	城壁は碧玉で築かれ、都はすきとおったガラスのような純金で造られていた。Rev 21:18 都の城壁の土台は、さまざまな宝石で飾られていた。第一の土台は碧玉… Rev 21:19 十二の門は十二の真珠であり… Rev 21:21
宴の食事		また主なる神は、見て美しく、食べるに良いすべての木を土からはえさせ、更に園の中央に命の木と、善悪を知る木とをはえさせられた。Gen 2:9	都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。Rev 22:2
飲み物		また一つの川がエデンから流れ出て園を潤し、そこから分れて四つの川となった。Gen 2:10	御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て…Rev 22:1 かわいている者はここに来るがよい。いのちの水がほしい者は、価なしにそれを受けるがよい。Rev 22:17
栄光		神は二つの大きな光を造り、大きい光に昼をつかさどらせ、小さい光に夜をつかさどらせ、また星を造られた。Gen 1:16	都は、日や月がそれを照す必要がない。神の栄光が都を明るくし、小羊が都のあかりだからである。Rev 21:23
王となる		「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。Gen 1:28	諸国民は都の光の中を歩き、地の王たちは、自分たちの光栄をそこに携えて来る。Rev 21:24 夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらない。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。 Rev 22:5
衣		人とその妻とは、ふたりとも裸であったが、恥ずかしいとは思わなかった。Gen 2:25	彼女は、光り輝く、汚れのない麻布の衣を着ることを許された。この麻布の衣は、聖徒たちの正しい行いである」。Rev 19:8
約束		しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう。Gen 2:17	もしこの預言の書の言葉をとり除く者があれば、神はその人の受くべき分を、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、とり除かれる。 Rev 22:19
誓い		彼らは、日の涼しい風の吹くころ、園の中に主なる神の歩まれる音を聞いた。そこで、人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。Gen 3:8	御霊も花嫁も共に言った、「きたりませ」。また、聞く者も「きたりませ」と言いなさい。Rev 22:17
祝辞		神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。Gen 1:28	主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。Rev22:21

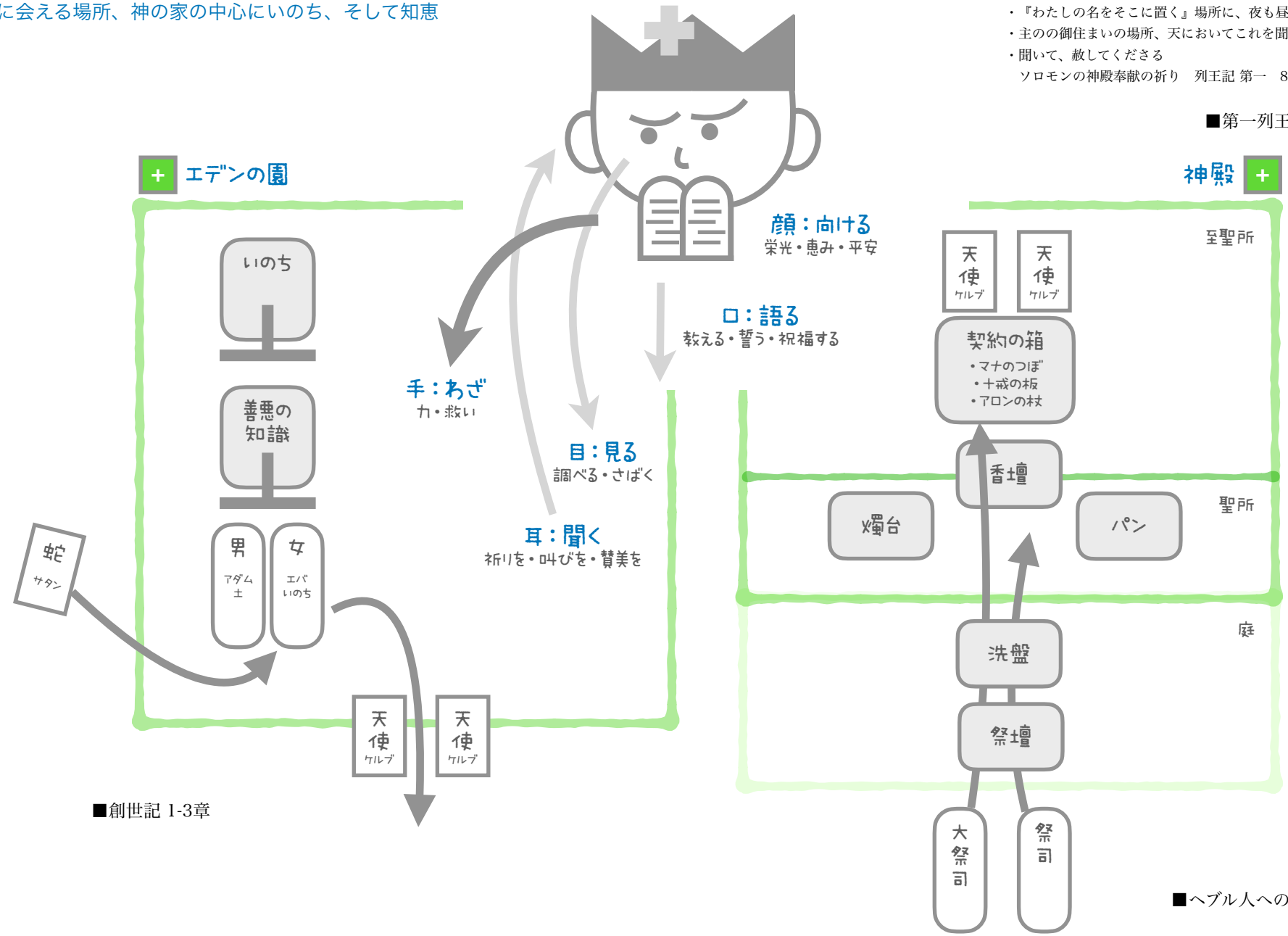
Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201216

神の家 － エデンの園、神殿

神に会える場所、神の家の中心にいのち、そして知恵

・祈りと願いに御顔を向ける
・御前にささげる叫びと祈りを聞いてくださる
・『わたしの名をそこに置く』場所に、夜も昼も御目を開く
・主のの御住まいの場所、天においてこれを聞いてくださる
・聞いて、赦してくださる
　ソロモンの神殿奉献の祈り　列王記 第一　8章28～30節

■第一列王記 6-8章



■創世記 1-3章

■ヘブル人への手紙 9章

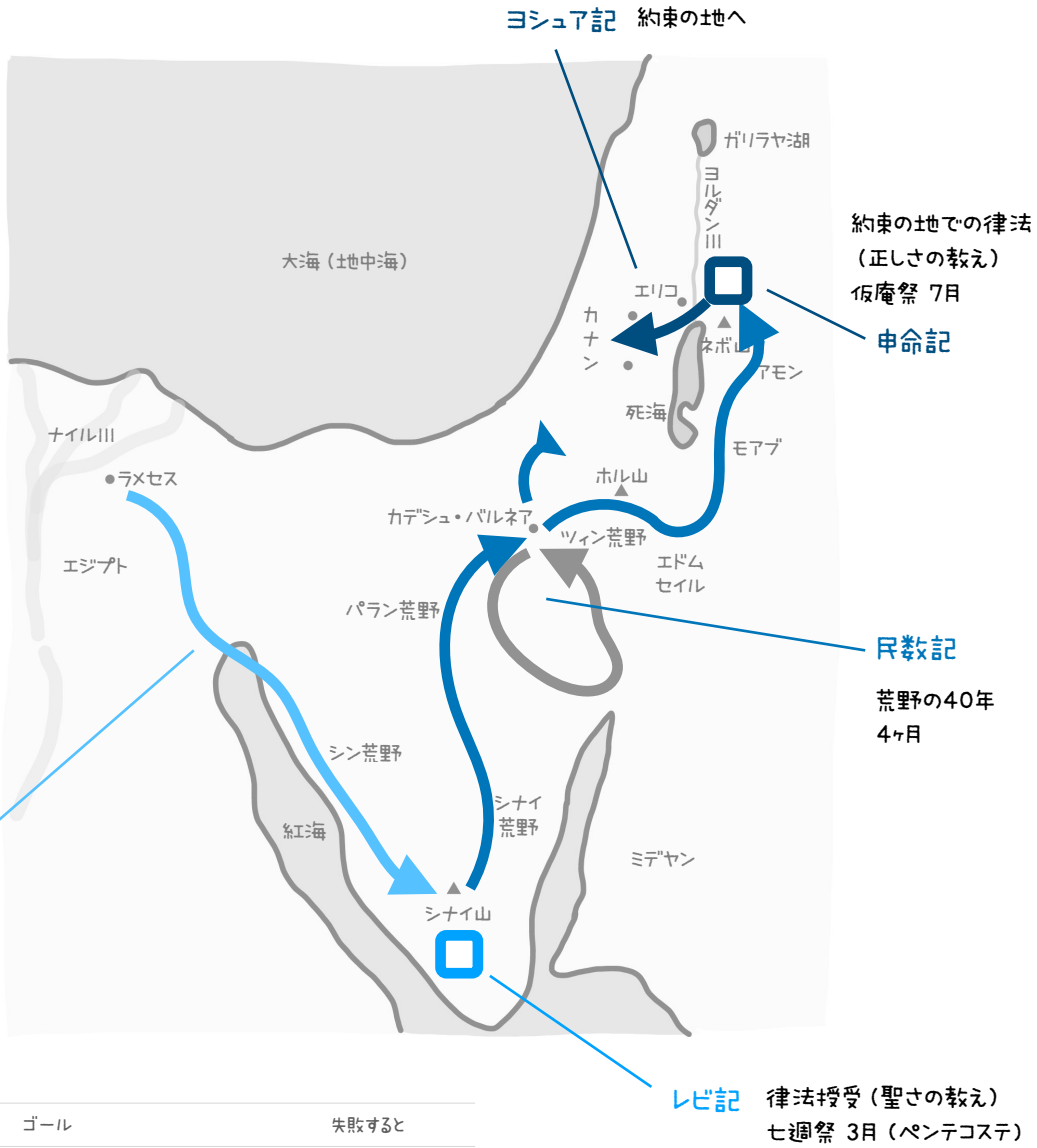
Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201224

聖書のストーリーの基本型

イスラエル三大記念祭は、神の国の勝利のストーリー

奴隷の家、エジプトから出て、約束の地、カナンに入るまでの出来事を元にして、イスラエルの暦は決められている。１月の過越祭、３月の七週祭、７月の仮庵祭が三大祭礼である。

記念： イスラエル三大祭	過越祭 1月	七週祭 3月		仮庵祭 7月
エジプトから 約束の地へ	出エジプト	律法授受	荒野	約束の地
ヨセフ天幕から ソロモン神殿へ	出ペリシテ	ダビデの天幕	ダビデ王の戦い	ソロモンの神殿
主イエスの復活から 新天新地へ	復活	聖霊降臨	聖徒の戦い	新天新地
テーマ：御国の勝利	脱出	恵み	戦い	平和
王のストーリー：	父が戦って、 子を連れ出す （子とされる）	父が子に宝を与える （相続の最上部分 戦いの武器、特権）	子が戦って、 民を導き入れる （最後に決戦）	民がすべてを 相続する （約束のもの）
民のストーリー：	義とされる （信仰によって）	聖とされる （愛を知る）	義であることが 試される （信仰が試される）	聖であることが 明らかにされる （愛が満ちる）



参考：物語論のアプローチ

	関門	原動力	求める資質	舞台設定	脇役	ゴール	失敗すると
英雄：ヒーロー 神話	自分の外側	自己犠牲（自己保身） 恐怖の克服	勇気、強さ、たくましさ	見知らぬ異国 安全と平和	同志	何かをする：他者のために勇気を出して、困難に打ち勝つ（集団的視点）	死、臆病
処女：ヴァージン おとぎ話	自分の内側	自己実現（自己喪失） 喜びの実現	想像力、精神性	家庭を中心にした王国 混乱と変化	友人	何かになる：本当の自分になって喜びを知る（個人的視点）	狂気、失望、自殺

Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201222

旧約聖書と新約聖書　ー　モーセの律法と預言者と詩篇に書かれたことはすべて成就する ルカ24：4

旧約聖書	新約聖書
ヘブル語（ユダヤ人語）＋アラム語	ギリシャ語（異邦人語）　ー　ヘブル語からの翻訳を含む
はじめの契約　神が果たすと誓った約束	新しい契約　ヘブル
はじめに神は天と地を創造した　創世記1：1 光よあれ　創世記1：3	新しい天と新しい地を見た　黙示録21：1 まことの光が来る　ヨハネ1：
見えるものは見えないもの（ことば）によってできた　ヘブル11：3	世に来た（受肉した）イエスが（見えない）教会を建てる　ヨハネ1：　エペソ1−2：　1コリント5：
～してはならない（ダメ！）、否定形、子どもに教える　十戒、申命記	～しようじゃないか、肯定形、大人に教える　ヘブル
父と子の愛　ー　神と民	夫と妻の愛　ー　キリストと教会、かしらとからだ
救い主が来るのを待つ　ー　預言（予言）、約束	救い主が来た！　ー　成就
来たるべきものの影　食べるな、祭り、いけにえ、安息日・・・	本体はキリスト　コロサイ2：　ヘブル8：5　10：1
来るな　出エジプト3：	来なさい、来てください　黙示録22：20
聖さにレベルあり　ー　至聖所、聖所、庭 大祭司、祭司、レビ人、イスラエル人、異邦人	キリスト者はすべて王であり祭司である　黙示録1：5　5：10　1ペテロ2：9 すべては聖とされた
羊飼い　地、部族、系図	漁師　海、部族の別なし、系図なし
モーセの律法と預言者と詩篇　ルカ24：44 預言書（前預言者：歴史書、後預言者：預言書）	
～以前の聖書	新しい聖書

■モーセの時代の御言葉は、創世記。ヨシュアの時代の後に、出エジプト記からヨシュア記までが新約聖書として編纂された。創世記は旧約聖書となった。
ダビデの時代の御言葉は、そのモーセの律法。ソロモンの時代の後に、歴史書が編纂され、さらに預言書が書かれる。モーセの律法が旧約聖書となった。
そして、主イエスの時代の御言葉は、モーセの律法と預言者と詩篇。主イエスの時代の後に、福音書から黙示録までが新約聖書として編纂された。

Copyright kurabeteyomu.com 2020 v20201222